

2022年度

『授業改善のための学生アンケート調査』の
結果および評価報告書
(前期)

北海商科大学

目 次

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について	3
1. 授業アンケート調査実施の趣旨	3
2. 調査の実施方法	3
3. アンケート回収結果	3
4. アンケート調査項目	4
5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について	7
6. 教員返却用集計フォーム	8
II. 集計結果について	11
1. 全科目の単純集計結果について	11
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について	14

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について

1. 授業アンケート調査実施の趣旨

大学教育の質的向上を図るため日常的に教育活動の点検・評価を実施し、その成果と到達点を検証して改善に努めることは、こんにちあらゆる大学に課せられた社会的責任となっています。本学でもそうした社会的要請に応えるべく、教育方法改善委員会のもとで 2009～2019年度に引き続き（2020年度は新型コロナウイルス感染症により異なる方法にて実施された）2021年度に引き続き、2022年度に開講されている全授業科目を対象にCoursePowerを利用したアンケート調査を実施しました。

この調査の目的は、各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。このたび2022年度前期開講科目に関する調査結果がまとまりましたので、ここに報告いたします。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査方法：CoursePowerを利用したアンケート調査
- (2) 調査期間：2022年7月16日（土）～8月5日（金）
- (3) 調査対象：開講全科目・全学年の授業（専任・非常勤を含む全ての授業）。ただし、履修者2名以内の科目は除く。
- (4) 調査内容・形式：全科目カテゴリー共通の調査票でアンケートを実施。「学生の行動」「授業手法・教員の行動」「授業内容」「教育効果」などに関する「選択式回答21項目」「自由記述回答3項目」で回答を得る。

3. アンケート回収結果

アンケート回収結果は、表1の通りです。

表1 授業アンケート実施状況

授業科目カテゴリー	(A)対象科目数	(B)実施科目数	(C)実施率(B/A)%	(E)対象科目受講者数	(F)実施科目回答者数	(G)回答率(F/E)%
(1)異文化交流科目（語学）	19	19	100	262	57	21.8
(2)異文化交流科目 社会と文化（社会文化ゼミナール）	9	9	100	845	186	22.0
(3)異文化交流科目 社会と文化（社会文化ゼミナール以外）	17	17	100	182	27	14.8
(4)専門基礎科目	14	14	100	641	201	31.4
(5)専門関連科目	30	26	87.6	1,617	291	18.0
(6)商学科専門科目	26	21	80.8	758	104	13.7
(7)観光産業学科専門科目	17	15	88.2	320	61	19.1
(8)専門キャリアアップ科目	15	15	100	463	104	22.5
(9)教職に関する科目	8	7	87.5	75	13	17.3
合計	155	143	92.3	5,163	1,044	20.2

4. アンケート調査項目

Q1. この授業を選択した理由は何ですか。（必須）

- 5 興味・関心があったから
- 4 役に立ちそうだったから
- 3 卒業に必要だったから
- 2 時間が空いていたから
- 1 友人等に薦められたから
- 0 何となく

Q2. この授業への出席率は何%ですか。（必須）

- 5 80%以上
- 4 60%以上
- 3 40%以上
- 2 20%以上
- 1 ほとんど出席していない

Q3. 授業中（オンデマンド型授業を含む）、その時間内は集中できましたか。（必須）

- 5 大変集中した
- 4 ある程度集中した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり集中しなかった
- 1 全く集中しなかった
- 0 よくわからない

Q4. 授業のなかでわからないことがあれば質問しましたか。（必須）

- 5 よく質問した
- 4 ある程度質問した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり質問しなかった
- 1 全く質問しなかった
- 0 よくわからない

Q5. シラバスに学習時間（予習・復習）等の内容が記載されておりますが、当該科目の1週間の平均的な学習時間（予習・復習・課題）はどれくらいですか。（必須）

- 5 4時間以上
- 4 3時間以上4時間未満
- 3 2時間以上3時間未満
- 2 1時間以上2時間未満
- 1 1時間未満

Q6. 教員は十分な準備と熱意で授業を行ったと感じましたか。（必須）

- 5 十分な準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 4 準備と熱意で授業を行ったと感じた
- 3 どちらともいえない
- 2 十分とはいえないと感じた
- 1 不十分であったと感じた
- 0 よくわからない

Q7. 教員が授業で話す言葉は、明瞭で聞き取りやすかったですか。（必須）

- 5 非常に明瞭で聞き取りやすかった

- 4 明瞭で聞き取りやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり明瞭ではなかった
- 1 聞き取りにくかった
- 0 よくわからない

Q8. 授業の進行速度はどう思いましたか。(必須)

- 5 非常に良い
- 4 良い
- 3 普通
- 2 あまり良くない
- 1 良くない
- 0 よくわからない

Q9. 教員は学生の理解度を確認し、必要に応じて補足しましたか。(必須)

- 5 非常によく補足した
- 4 よく補足した
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり補足しなかった
- 1 まったく補足しなかった
- 0 よくわからない

Q10. 教員は、対面・遠隔授に応じて、黒板や視聴覚機器などを有効かつ適切に使用してましたか。(必須)

- 5 非常に有効かつ適切に使用していた
- 4 ある程度有効に使用していた
- 3 どちらともいえない
- 2 有効かつ適切ではなかった
- 1 不適切であった
- 0 よくわからない

Q11. (対面授業の場合) 教員は私語などの講義を妨害する不適切な行動を止めていましたか。(必須)

- 5 止めていた
- 4 ときどき止めていた
- 3 どちらともいえない
- 2 ほとんど止めていなかった
- 1 まったく止めていなかった
- 0 よくわからない

Q12. 教員は学生の質問に適切に対応しましたか。(必須)

- 5 非常に適切に対応した
- 4 ある程度適切に対応した
- 3 どちらともいえない
- 2 対応していなかった
- 1 まったく対応していなかった
- 0 よくわからない

Q13. レポートや課題、小テストは授業の理解に役立ちましたか。(必須)

- 5 非常に役に立った
- 4 ある程度役に立った

- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立たなかった
- 1 全く役に立たなかった
- 0 よくわからない

Q14. 試験回数や採点方法は適切でしたか。(必須)

- 5 非常に適切であった
- 4 ある程度適切であった
- 3 どちらともいえない
- 2 適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなかった
- 0 よくわからない

Q15. 教科書や配布資料は分かりやすいものでしたか。(必須)

- 5 非常にわかりやすかった
- 4 ある程度わかりやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 わかりやすくはなかった
- 1 わかりにくかった
- 0 よくわからない

Q16. 授業内容はよく理解できましたか。(必須)

- 5 非常によく理解できた
- 4 ある程度理解できた
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり理解できなかった
- 1 全く理解できなかった
- 0 よくわからない

Q17. 授業展開はシラバス(講義概要)に沿ったものでしたか。(必須)

- 5 シラバスに沿ったものであった
- 4 おおむねシラバスに沿ったものであった
- 3 どちらともいえない
- 2 シラバスに沿った点は少なかった
- 1 シラバスに沿ったものではなかった
- 0 よくわからない

Q18. 授業内容は今後の勉学や社会生活に役立つと思えましたか。(必須)

- 5 非常に役に立つと思う
- 4 ある程度役に立つと思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり役に立つと思わない
- 1 全く役に立つと思わない
- 0 よくわからない

Q19. 授業は知的好奇心を刺激し、さらに学習の意欲をかきたてるものでしたか。(必須)

- 5 知的好奇心を強く刺激され、さらに学習の意欲もかきたてられた
- 4 ある程度知的好奇心は刺激された
- 3 どちらともいえない
- 2 知的的好奇は刺激されなかった
- 1 知的的好奇は全く刺激されなかった

0 よくわからない

Q20. 遠隔授業の場合、教員による遠隔授業の準備や運営方法は適切で学習しやすかったですか。(必須)

- 5 非常に適切で学習しやすかった
- 4 ある程度学習しやすかった
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり適切ではなかった
- 1 まったく適切ではなく学習しにくかった
- 0 よくわからない

Q21. 授業は全体として満足できるものでしたか。(必須)

- 5 非常に満足できた
- 4 満足できた
- 3 どちらともいえない
- 2 満足できなかった
- 1 まったく満足できなかつた
- 0 よくわからない

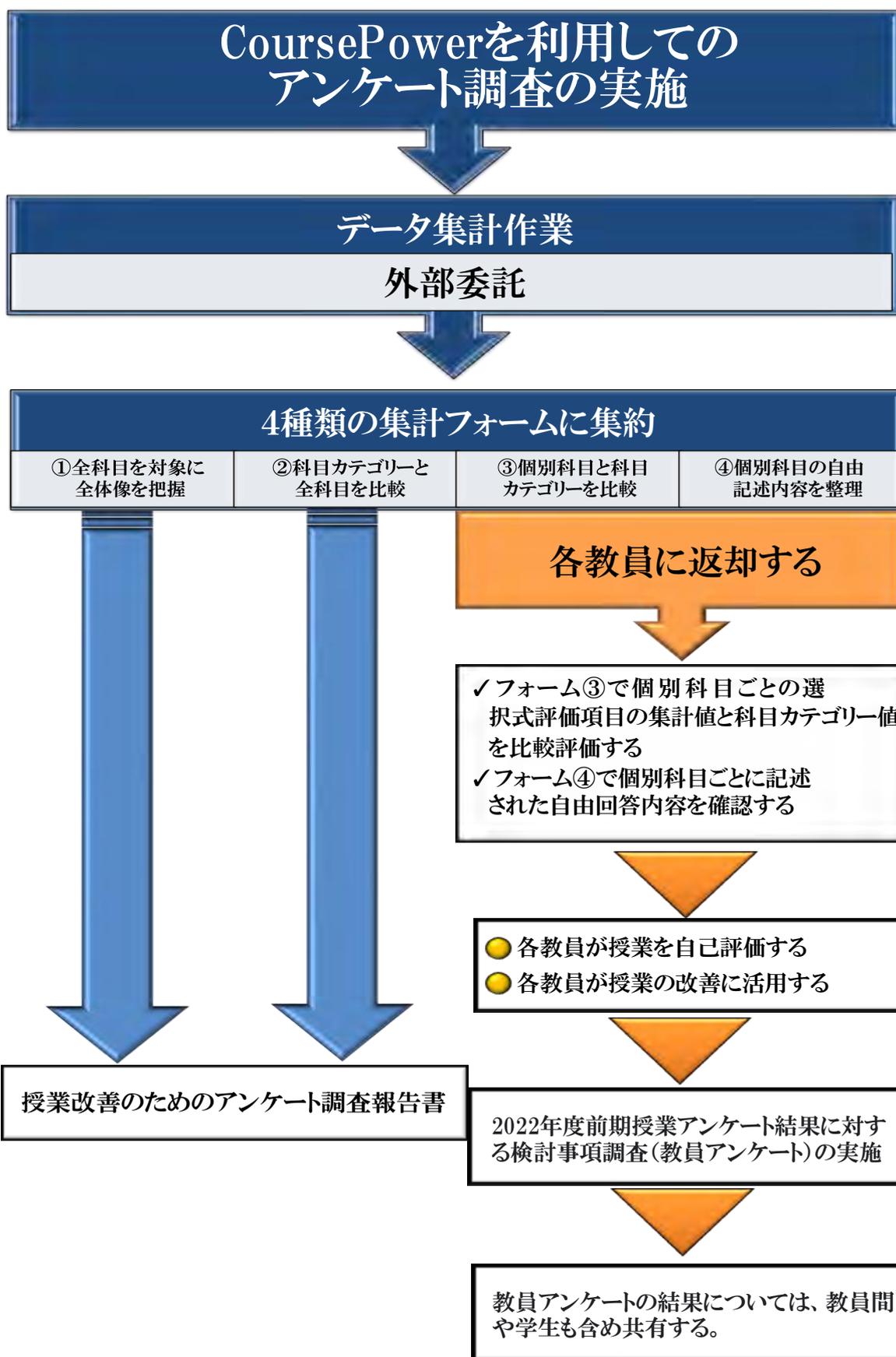
Q22. この授業で特に良かった点は何ですか。 ※300文字まで入力可

Q23. この授業で特に改善してほしい点は何ですか。 ※300文字まで入力可

Q24. その他に意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反しますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。) ※300文字まで入力可

5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について

既述したように、この調査の目的は各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。今回のアンケート調査結果と授業改善に向けた活用の仕組みは以下の通りです。



6. 教員返却用集計フォーム

各教員に返却された前ページの集計フォーム③、④のサンプルを以下に掲げます。

授業アンケート結果集計表

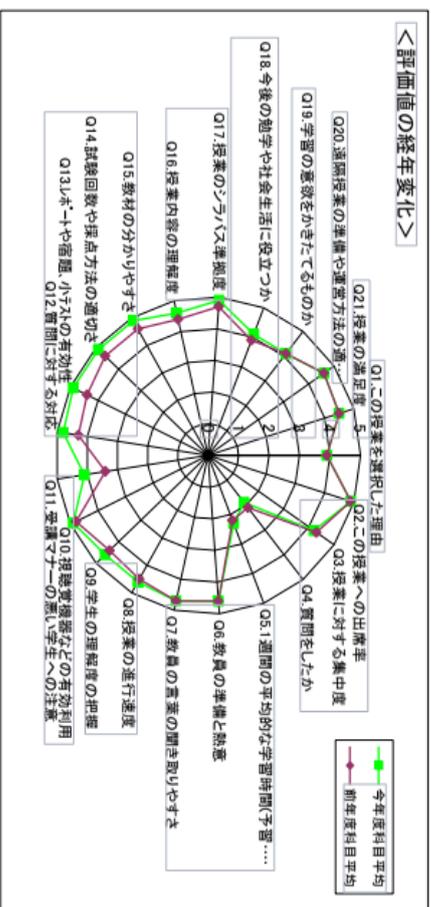
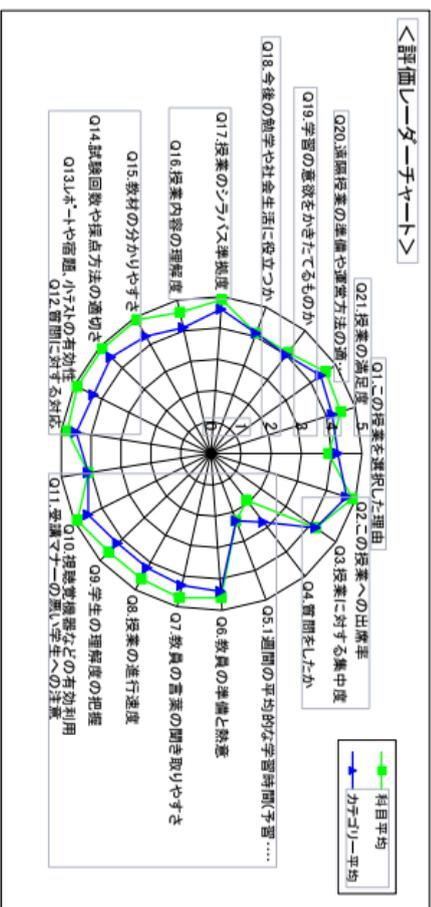
教員返却用集計フォーム③サンプル

2022年度前期 北海商科大学

教員名	〇〇〇〇〇	履修者数	40名
科目名	△△△△学	回収数	14枚
カテゴリ	××××	回収率	35.0%

回答分布(人数と平均値・標準偏差)	質問内容					上段:平均値		
	5	4	3	2	1	0-無回答	当科目カテゴリ	
01. この授業を選択した理由	7	4	3	0	1	1	3.9	4.2
	50.0%	0.0%	35.7%	0.0%	7.1%	7.1%	1.27	1.14
02. この授業への出席率	12	2	0	0	0	0	4.9	4.7
	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.71
03. 授業に対する集中度	3	11	0	0	0	0	4.2	4.2
	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.41	0.82
04. 質問をしたか	0	1	3	4	6	0	1.9	2.8
	0.0%	7.1%	21.4%	28.6%	42.9%	0.0%	0.96	1.49
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	1	0	5	4	4	0	2.3	2.3
	7.1%	0.0%	35.7%	28.6%	28.6%	0.0%	1.10	1.20
06. 教員の準備と熱意	8	6	0	0	0	0	4.6	4.4
	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.50	0.81
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	10	4	0	0	0	0	4.7	4.3
	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.45	0.84
08. 授業の進行速度	9	5	0	0	0	0	4.6	4.2
	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.48	0.82
09. 学生の理解度の把握	10	3	1	0	0	0	4.6	4.2
	71.4%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.61	0.89
10. 視聴覚機器などの有効利用	12	2	0	0	0	0	4.9	4.5
	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.73
11. 受講マナーの悪い学生への注意	7	1	3	0	1	2	4.1	4.1
	50.0%	7.1%	21.4%	0.0%	7.1%	14.3%	1.26	1.11
12. 質問に対する対応	12	1	1	0	0	0	4.8	4.5
	85.7%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.56	0.74
13. レポートや宿題、小テストの有効性	12	2	0	0	0	0	4.9	4.3
	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.88
14. 試験回数や採点方法の適切さ	12	2	0	0	0	0	4.9	4.5
	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.74
15. 教材の分かりやすさ	12	2	0	0	0	0	4.9	4.3
	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.96
16. 授業内容の理解度	10	3	0	1	0	0	4.6	4.1
	71.4%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.82	0.95
17. 授業のシラバス準拠度	12	2	0	0	0	0	4.9	4.6
	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.35	0.64
18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	7	4	1	1	1	0	4.1	4.1
	50.0%	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	1.22	0.97
19. 学習の意欲をかきたてるものか	7	3	2	0	0	0	4.1	4.0
	50.0%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.10	1.05
20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	9	3	1	0	0	1	4.6	4.4
	64.3%	21.4%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	0.63	0.81
21. 授業の満足度	9	4	0	0	0	0	4.5	4.2
	64.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.82	0.91

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。



自由記述一覧

2022年度前期 北海商科大学

教員名：〇〇〇〇〇

科目名：△△△学

Q22 この授業で特に良かった点は何ですか。

項番	内 容
1	スライド説明
2	課題の提出期間が長めに設定されていた点。
3	経済の必要な知識を入れ、資格を取るのに関係する内容がよかった。
4	スライドの内容をレジュメとして事前にUPしてあったので、それを印刷して授業中に気になることがあったら書きこむことができた点対面で出た週も復習として動画を活用することができた点
5	毎回配られるレジュメが活用しやすかった。
6	課題内容がとても良かった。講義を深く理解していないと解けないところや、自分で調べないといけないところがあった。それらは講義内容を深く理解する大きな要因だったと考えられる。

Q23 この授業で特に改善してほしい点は何ですか。

項番	内 容
1	内容をもっとわかりやすく
2	テストの答えを教えてください。
3	この授業はグループワークやペアワークをするような内容ではないのでコロナが過去最高となった今完全に落ち着くまではオンデマンドで対応すべきだと思うコロナを気にせず遊んでいるような人と授業を受けるのは基礎疾患を持っている私からすると不安で仕方ない
4	テストの解答を表示してほしい。自分がどこを間違っていたのかわからない。
5	オンラインで受講する週の前回の課題の解説の部分が、動画の画質の問題か字がつぶれていて判読できなかったのをそこを改善してほしい。
6	グラフの説明が機械的すぎると思った。グラフが動くのを英単語で表すに最初はすごく混乱した。もう少し機械的ではなくかみ砕いて説明すればよいと考える。一方でその動く原因を実際の出来事を例としているところはよいと思った。

Q24 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの趣旨に反しますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。)

項番	内 容
1	特になし

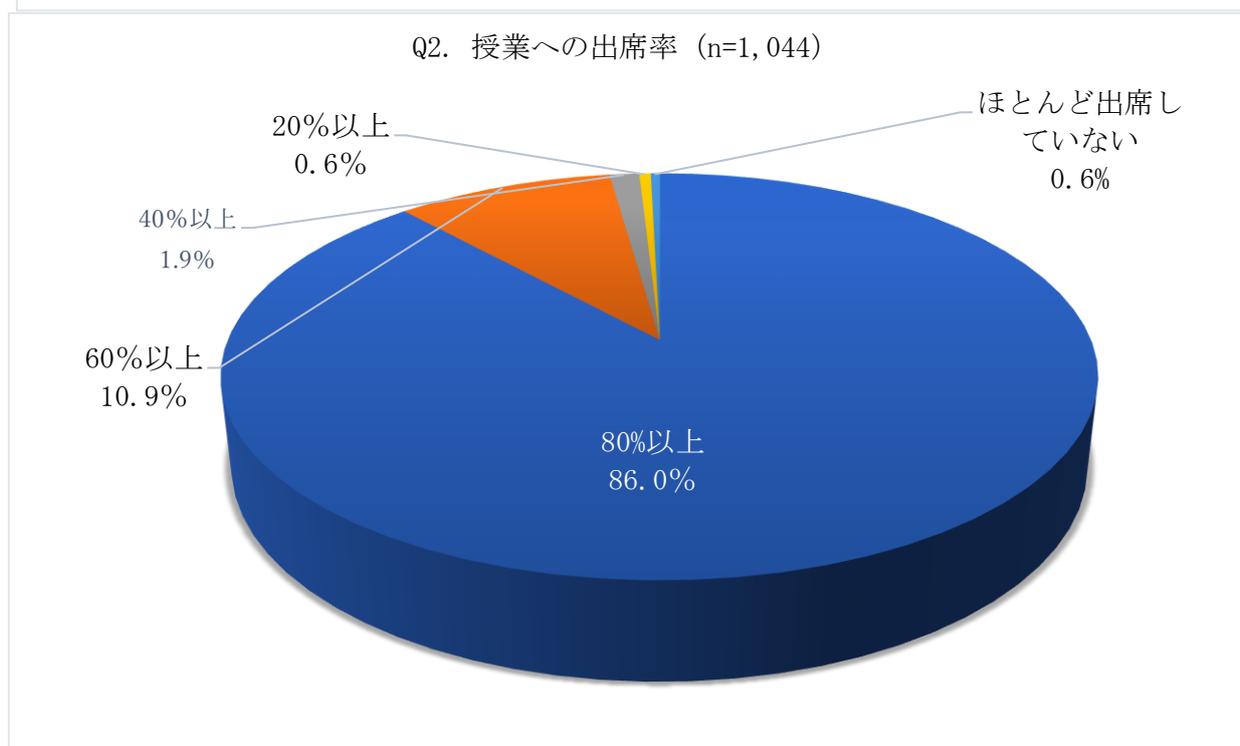
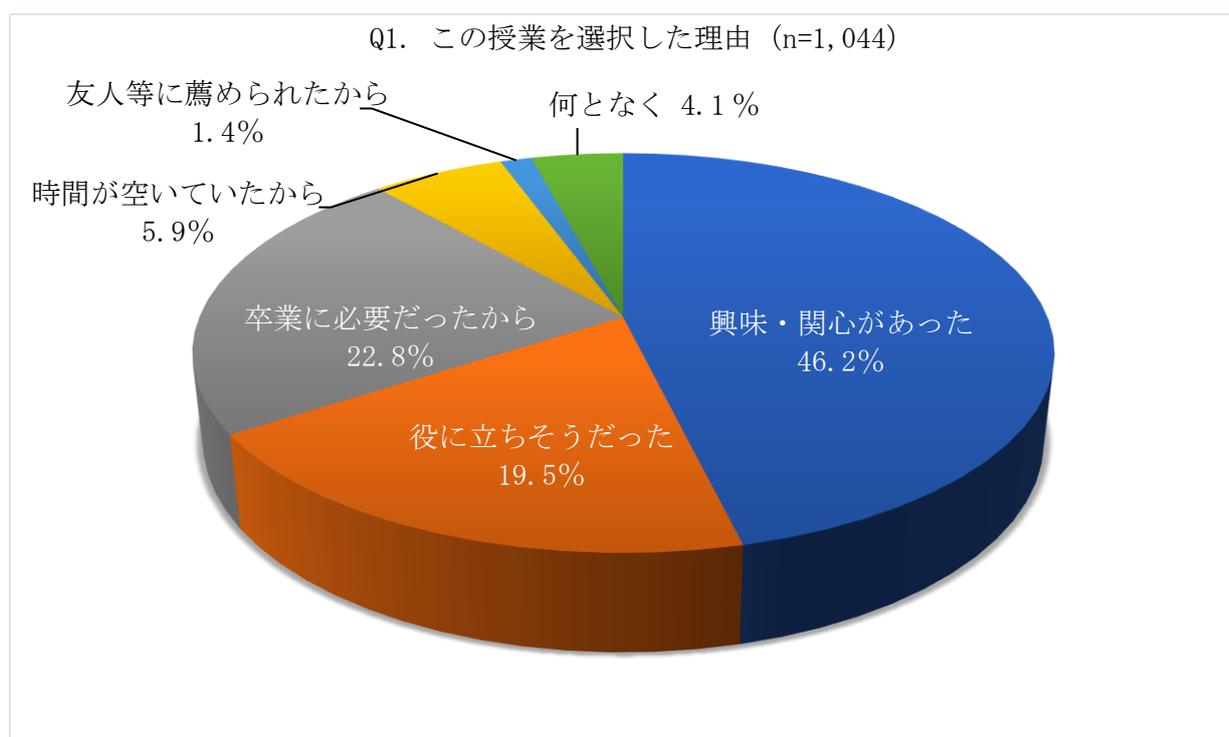


II. 集計結果について

1. 全科目の単純集計結果について

ここでの集計表は、評価項目別の回答結果を単純に集計したものです。表では評価値として平均値を算出していますが、これは評価項目別に回答結果を評価点（1～5点）で加重平均したものです。また平均値の下段の標準偏差は、回答のバラツキの大小を表しています。各評価項目の平均値は「5」に近ければ良好な評価となり、標準偏差は小さければ回答のバラツキが小さいことを表します。したがって、評価平均値が「5」に近く標準偏差が小さいほど優良な評価を意味することになります。一方、レーダーチャートに表示されている平均値では、評価項目別の評価の良否と全評価項目のバランスを同時に検討することができます。

(1) 講義の選択動機と出席率について (Q1. Q2.)



(2) 学生の受講姿勢 (Q3.～Q5.) と授業評価 (Q6.～Q21.) について

Q3.～Q5. までは、学生の授業に対する受講姿勢に関する質問です。「Q3. 授業に対する集中度」は遠隔授業の場合も含み全科目の平均値で「4.3」と高い結果であったが、授業に対する積極性を問う「Q4. 質問をしたか」については、「2.9」でQ3.と比較すると低い値であり、積極性に問題点あり、前年度と同じ傾向といえます。一方、学習に対する主体性を問う「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」では、「1時間以上2時間未満」とした回答が38.3%と最も多く、以下「1時間未満」が29.6%、「2時間以上3時間未満」が20.7%、と続き、「4時間以上」は回答者全体の5.7%にとどまる結果となりました。このことから依然として全般的に学習時間が不足しているように思われます。ただしQ4.とQ5.については、標準偏差が各々1.42、1.10であり、他の質問項目に比較して大きいことから、受講姿勢には個人差がみられます(p.13参照)。

Q6.～Q21.の授業評価については以下の通りです。「Q11. (対面授業の場合) 受講マナーの悪い学生への注意」の平均値は「4.1」、標準偏差は1.08、また「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」の平均値は「4.1」、標準偏差は1.04、より教員対応に偏りが見られます。「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」および「Q17. 授業のシラバス準拠度」の平均値は「4.5」と最も高い結果となりました。「Q6. 教員の準備と熱意」「Q12. 質問に対する対応」「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」についても平均値は「4.4」と高めの結果となった。「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」「Q8. 授業の進行速度」「Q9. 学生の理解度把握」「Q15. 教材のわかりやすさ」「Q16. 授業の理解度」「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」「Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ」「Q21. 授業の満足度」の平均値は「4.2～4.3」でした。前年度に比べて全体的な傾向として平均値は上昇しています。

なお、各回答のバラツキを表す標準偏差は、Q4. Q5. Q11. Q19 以外は概ね「0.7～1.0」の近傍にあり、質問項目間で大きな差は認められません。

一方、Q22.～Q24.の自由記述欄への回答に関しては以下の通りです。「Q22. この授業で特に良かった点は何ですか」との問いに対しては、全体で216件(特に無しは除く)の回答がありました。また、「Q23. この授業で特に改善して欲しい点は何ですか」の問いに関しては、回答が80件(特に無しは除く)、「Q24. その他の意見・要望があればご記入下さい」については20件(特に無しは除く)の回答が寄せられました。これらの回答内容については、後述の科目カテゴリー別のアンケート結果欄において個別にコメントされます。

ただし、アンケートに対する回答率が2021年度36.2%から今年度は20.2%へ大きく下げていることに留意する必要があります。

なお、既述の通りこれら自由回答欄の内容は「集計フォーム④」として整理され、「集計フォーム③」とともに各科目の担当教員に返却されており、今後の授業改善に向けた参考資料として活用されます。

その後、2022年度前期授業アンケート結果に対する検討事項調査(教員アンケート)を実施し、その結果は、教員間や学生も含めて情報共有し、教員のFD向上さらには学生の勉学の向上のための基礎資料として利活用しています。

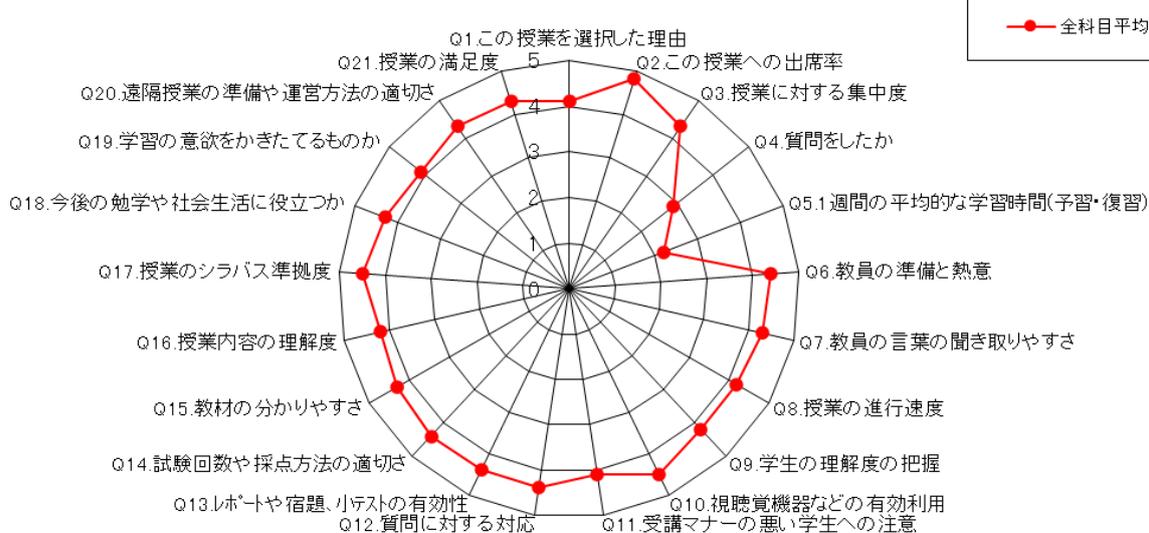
項目別回答分布(人数と平均値・標準偏差)

上段:平均値
下段:標準偏差

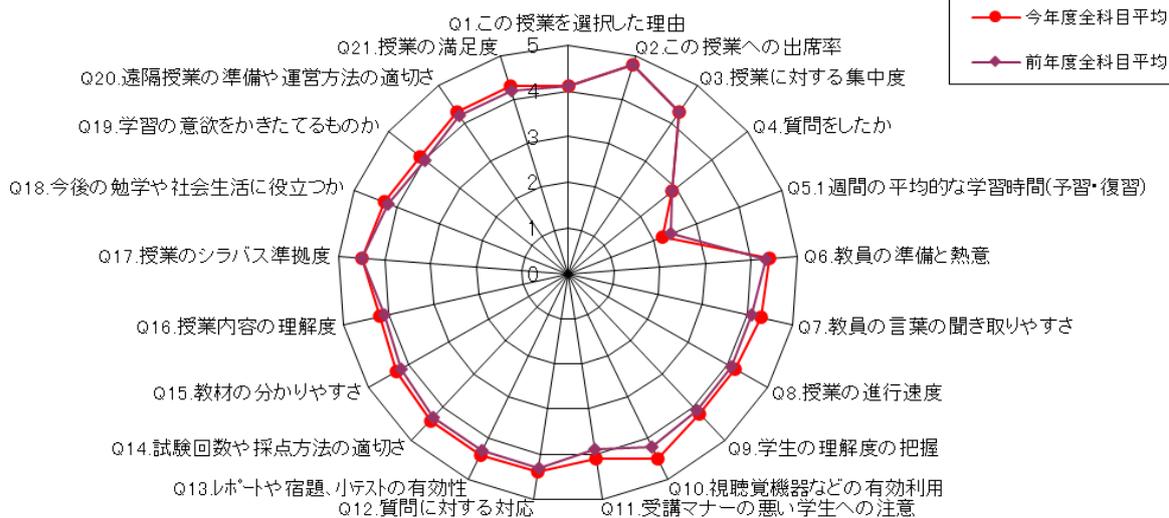
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	全科目
Q1. この授業を選択した理由	482 46.2%	204 19.5%	238 22.8%	62 5.9%	15 1.4%	43 4.1%	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	898 86.0%	114 10.9%	20 1.9%	6 0.6%	6 0.6%	0 0.0%	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	517 49.5%	391 37.5%	91 8.7%	25 2.4%	10 1.0%	10 1.0%	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	177 17.0%	193 18.5%	261 25.0%	123 11.8%	245 23.5%	45 4.3%	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	59 5.7%	60 5.7%	216 20.7%	400 38.3%	309 29.6%	0 0.0%	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	593 56.8%	316 30.3%	80 7.7%	22 2.1%	20 1.9%	13 1.2%	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	551 52.8%	332 31.8%	91 8.7%	37 3.5%	26 2.5%	7 0.7%	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	512 49.0%	303 29.0%	163 15.6%	31 3.0%	17 1.6%	18 1.7%	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	471 45.1%	334 32.0%	148 14.2%	30 2.9%	15 1.4%	46 4.4%	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	627 60.1%	283 27.1%	88 8.4%	17 1.6%	13 1.2%	16 1.5%	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	364 34.9%	112 10.7%	218 20.9%	18 1.7%	22 2.1%	310 29.7%	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	555 53.2%	245 23.5%	121 11.6%	10 1.0%	5 0.5%	108 10.3%	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	568 54.4%	308 29.5%	99 9.5%	28 2.7%	18 1.7%	23 2.2%	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	595 57.0%	270 25.9%	99 9.5%	10 1.0%	12 1.1%	58 5.6%	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	576 55.2%	294 28.2%	98 9.4%	34 3.3%	20 1.9%	22 2.1%	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	493 47.2%	380 36.4%	103 9.9%	41 3.9%	19 1.8%	8 0.8%	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	605 58.0%	298 28.5%	60 5.7%	8 0.8%	8 0.8%	65 6.2%	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	550 52.7%	344 33.0%	82 7.9%	32 3.1%	18 1.7%	18 1.7%	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	450 43.1%	349 33.4%	139 13.3%	58 5.6%	33 3.2%	15 1.4%	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	534 51.1%	264 25.3%	118 11.3%	25 2.4%	18 1.7%	85 8.1%	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	560 53.6%	310 29.7%	107 10.2%	28 2.7%	27 2.6%	12 1.1%	4.3 0.95

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について

ここからは、科目カテゴリーごとに全科目との比較を通して単純集計結果を検討します。

<異文化交流科目：語学>

評価レーダーチャートより、異文化交流科目のうち語学における授業評価の全体的な傾向として、「全科目平均」よりもほぼすべての項目において、わずかではあるものの上回っています。しかし、「全科目平均」よりも顕著に上回っているというわけでもありません。「全科目平均」と比較して異なるといえる点は、「Q4. 質問をしたか」、「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」にあるといえます。これらが目立った理由として、少人数クラスの利点を生かして、教員が質疑応答と反復練習とを重視し、概して双方向の授業を展開していることを挙げる事ができるでしょう。

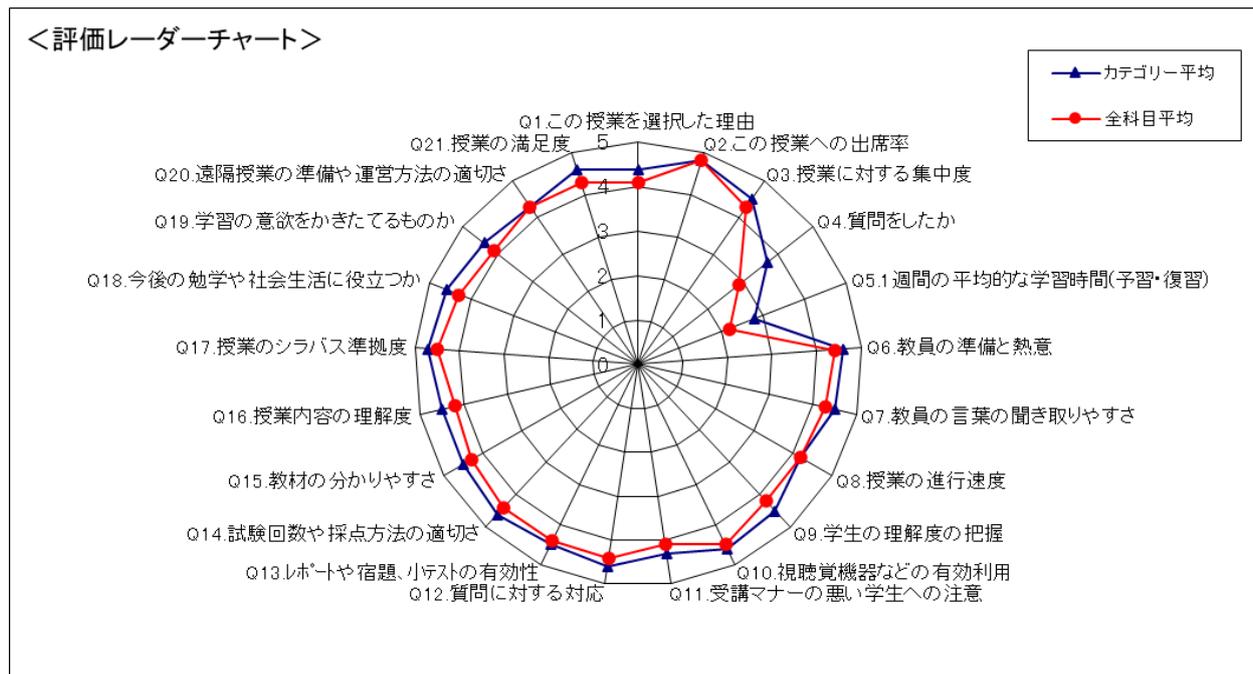
評価値の経年変化より、前年度のカテゴリー平均に比べて、今年度のカテゴリー平均の評価値は上昇しています。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

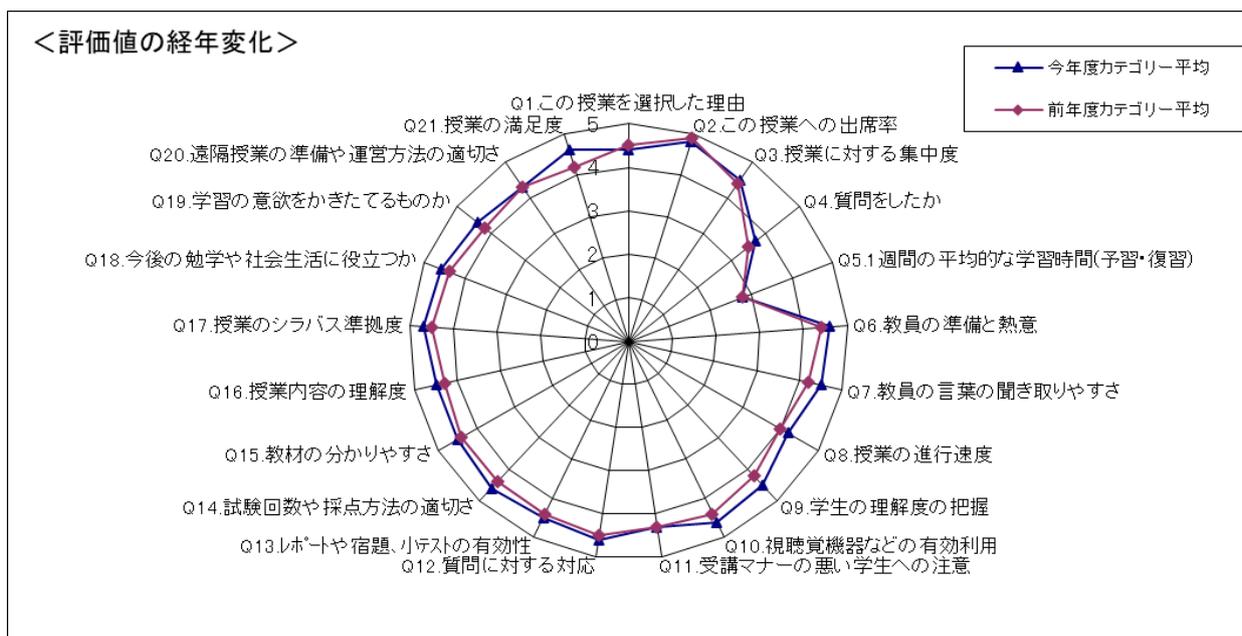
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	37 64.9%	8 14.0%	10 17.5%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	4.4 0.90	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	51 89.5%	4 7.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	4.8 0.63	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	29 50.9%	27 47.4%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.53	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	17 29.8%	20 35.1%	9 15.8%	5 8.8%	4 7.0%	2 3.5%	3.7 1.20	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	7 12.3%	6 10.5%	17 29.8%	23 40.4%	4 7.0%	0 0.0%	2.8 1.12	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	36 63.2%	18 31.6%	3 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.59	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	34 59.6%	20 35.1%	3 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.60	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	23 40.4%	21 36.8%	11 19.3%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	4.2 0.80	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	35 61.4%	17 29.8%	3 5.3%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	4.5 0.68	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	43 75.4%	9 15.8%	4 7.0%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.69	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	24 42.1%	14 24.6%	4 7.0%	3 5.3%	0 0.0%	12 21.1%	4.3 0.89	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	39 68.4%	12 21.1%	3 5.3%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.5%	4.6 0.67	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	40 70.2%	10 17.5%	5 8.8%	2 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.80	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	38 66.7%	14 24.6%	5 8.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.65	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	36 63.2%	16 28.1%	5 8.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.65	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	34 59.6%	20 35.1%	3 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.60	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	40 70.2%	13 22.8%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.3%	4.7 0.49	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	39 68.4%	14 24.6%	3 5.3%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	4.6 0.75	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	33 57.9%	16 28.1%	6 10.5%	2 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	4.4 0.81	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	26 45.6%	20 35.1%	6 10.5%	2 3.5%	0 0.0%	3 5.3%	4.3 0.81	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	35 61.4%	18 31.6%	2 3.5%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	4.6 0.65	4.3 0.95

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



自由記述において、「外国人講師との交流」や「中国山東大学のオンライン留学」など受講する学生にとって大変意義深いものであったことが記述されています。前年度の自由記述において講義進行速度に対する改善意見はほとんど見られなくなった。今年度の改善して欲しい点としては、「授業の難易度を少し上げて欲しい」という意見がありました。

<異文化交流科目：社会と文化（社会文化ゼミナール）>

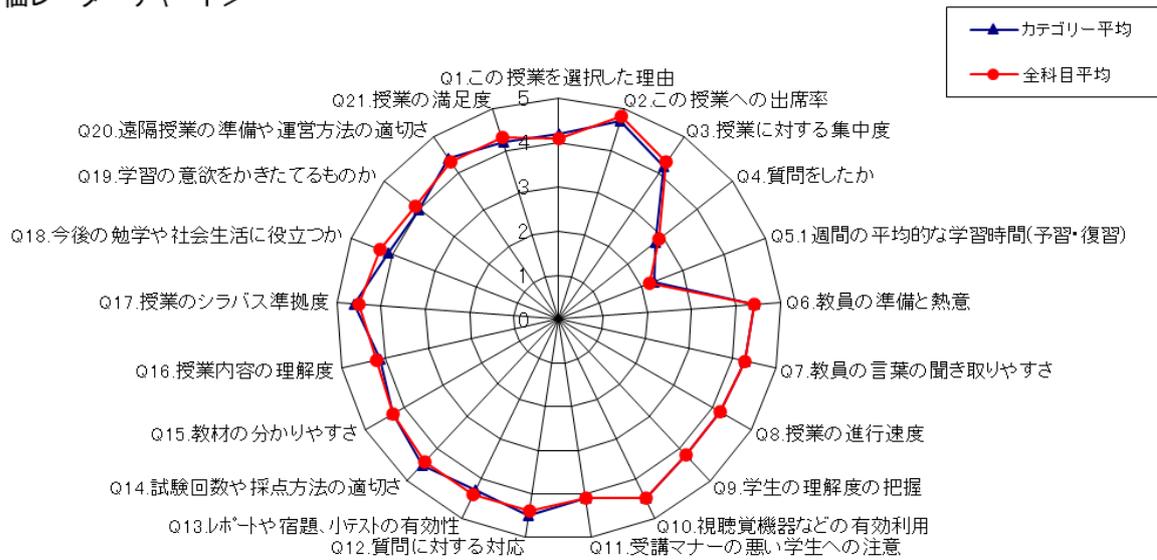
「社会と文化」という科目区分の中で唯一のゼミナール科目であり、1年生のほぼ全員が履修する科目です。評価レーダーチャートより、全科目平均とカテゴリー平均に大きな差は見られないが、評価値の経年変化で見ると、前年度のカテゴリー平均に比べて、今年度のカテゴリー平均の評価値は上昇しています。これは、対面授業が本格的に始まっておりその効果によるものと思われます。社会文化ゼミナールは1年生がほぼ全員受講する講義のため、「Q2. この授業への出席率」は高い傾向にあります。昨年度の引き続き、学生・教員ともに熱意をもって取り組み、教員がクラス間あるいは教員間の進度差をなくすよう統一的で公正な授業展開ができたことがうかがえます。昨年度来、同様の課題としては、「Q4. 質問をしたか」「Q5. 1週間の平均的な学習時間」が低いことがあげられます。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段:平均値
下段:標準偏差

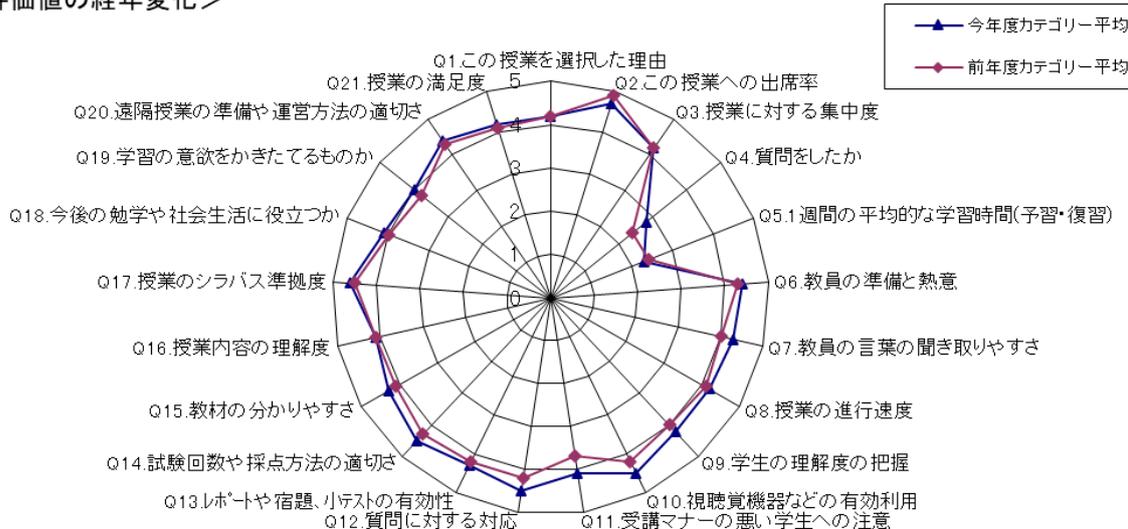
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	103 55.4%	38 20.4%	10 5.4%	17 9.1%	6 3.2%	12 6.5%	4.2 1.14	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	157 84.4%	19 10.2%	5 2.7%	2 1.1%	3 1.6%	0 0.0%	4.7 0.71	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	75 40.3%	82 44.1%	21 11.3%	7 3.8%	1 0.5%	0 0.0%	4.2 0.82	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	32 17.2%	40 21.5%	34 18.3%	22 11.8%	55 29.6%	3 1.6%	2.8 1.49	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	18 9.7%	9 4.8%	34 18.3%	72 38.7%	53 28.5%	0 0.0%	2.3 1.20	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	107 57.5%	55 29.6%	17 9.1%	3 1.6%	2 1.1%	2 1.1%	4.4 0.81	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	96 51.6%	59 31.7%	24 12.9%	5 2.7%	1 0.5%	1 0.5%	4.3 0.84	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	79 42.5%	66 35.5%	35 18.8%	4 2.2%	0 0.0%	2 1.1%	4.2 0.82	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	82 44.1%	63 33.9%	30 16.1%	5 2.7%	2 1.1%	4 2.2%	4.2 0.89	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	121 65.1%	40 21.5%	20 10.8%	2 1.1%	0 0.0%	3 1.6%	4.5 0.73	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	77 41.4%	19 10.2%	41 22.0%	2 1.1%	6 3.2%	41 22.0%	4.1 1.11	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	113 60.8%	40 21.5%	23 12.4%	1 0.5%	0 0.0%	9 4.8%	4.5 0.74	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	96 51.6%	59 31.7%	18 9.7%	7 3.8%	2 1.1%	4 2.2%	4.3 0.88	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	108 58.1%	55 29.6%	18 9.7%	3 1.6%	0 0.0%	2 1.1%	4.5 0.74	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	104 55.9%	47 25.3%	21 11.3%	13 7.0%	1 0.5%	0 0.0%	4.3 0.96	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	78 41.9%	74 39.8%	18 9.7%	14 7.5%	2 1.1%	0 0.0%	4.1 0.95	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	121 65.1%	48 25.8%	9 4.8%	2 1.1%	0 0.0%	6 3.2%	4.6 0.64	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	70 37.6%	78 41.9%	16 8.6%	15 8.1%	3 1.6%	4 2.2%	4.1 0.97	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	67 36.0%	66 35.5%	29 15.6%	17 9.1%	4 2.2%	3 1.6%	4.0 1.05	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	101 54.3%	49 26.3%	26 14.0%	2 1.1%	1 0.5%	7 3.8%	4.4 0.81	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	88 47.3%	62 33.3%	24 12.9%	8 4.3%	2 1.1%	2 1.1%	4.2 0.91	4.3 0.95

※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<異文化交流科目：社会と文化（社会文化ゼミナール以外）>

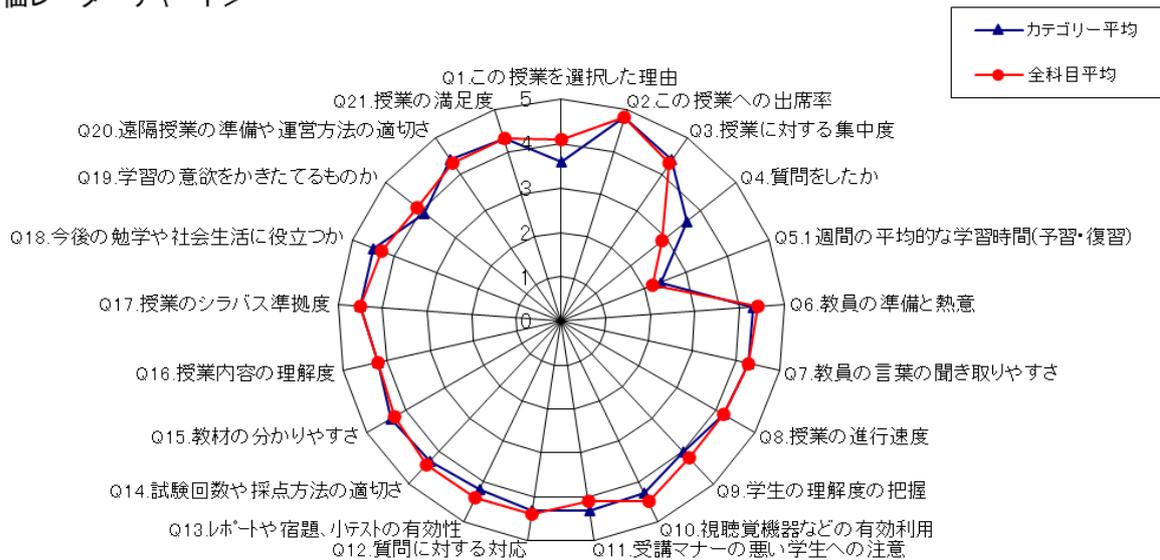
異文化交流科目のうち、「社会文化ゼミナール」以外の「社会と文化」についての科目であり、講義形式の授業です。「全科目平均」と比較した評価レーダーチャートより、概ね平均と一致していますが、特筆すべきは「Q4. 質問をしたか」および「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」、「Q18. 今後の勉強や社会生活に役立つか」の項目において全科目平均よりも評価が高かったことです。とりわけ、「Q4. 質問をしたか」および「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」の2つの項目は、評価値の経年変化からもわかるように評価値が上昇しており、アンケートの結果を受けて、主体的に学習し積極的に質問をする、自学自習を習慣化するなど、教員からの働きかけや受講マナーを事前に丁寧に説明し、マナー違反はすぐに注意するよう努めた改善結果であるといえます。このことは今後も継続し、さらに積み重ねていきたい。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

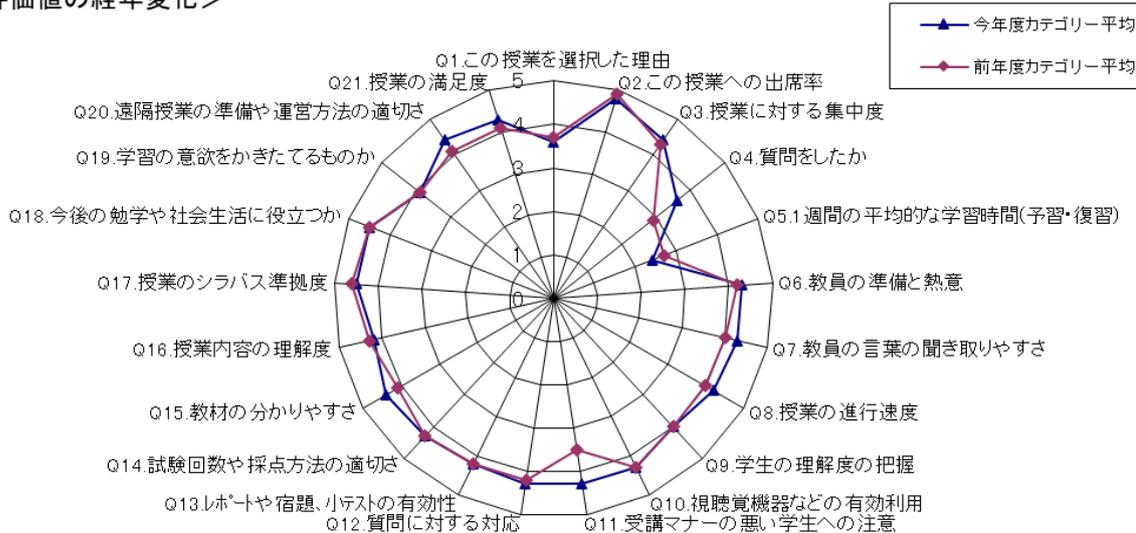
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	6 22.2%	3 11.1%	15 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.1%	3.6 0.86	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	25 92.6%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.67	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	13 48.1%	9 33.3%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	2 7.4%	4.4 0.79	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	9 33.3%	8 29.6%	1 3.7%	6 22.2%	2 7.4%	1 3.7%	3.6 1.36	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	2 7.4%	1 3.7%	8 29.6%	10 37.0%	6 22.2%	0 0.0%	2.4 1.09	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	11 40.7%	11 40.7%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	4.3 0.68	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	13 48.1%	9 33.3%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4.3 0.94	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	14 51.9%	6 22.2%	5 18.5%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4.2 1.01	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	10 37.0%	8 29.6%	7 25.9%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4.0 1.00	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	13 48.1%	9 33.3%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4.3 0.94	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	13 48.1%	5 18.5%	6 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.1%	4.3 0.84	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	13 48.1%	11 40.7%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4.3 0.88	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	14 51.9%	5 18.5%	5 18.5%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	4.2 1.10	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	15 55.6%	3 11.1%	8 29.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	4.3 0.90	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	14 51.9%	8 29.6%	4 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	4.4 0.74	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	14 51.9%	5 18.5%	5 18.5%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	4.2 1.10	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	18 66.7%	3 11.1%	5 18.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	4.5 0.80	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	17 63.0%	8 29.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4.5 0.84	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	12 44.4%	5 18.5%	5 18.5%	2 7.4%	2 7.4%	1 3.7%	3.9 1.28	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	12 44.4%	9 33.3%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.1%	4.4 0.70	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	13 48.1%	9 33.3%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4.3 0.94	4.3 0.95

※標準偏差の大小は、回答のパラッキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<専門基礎科目>

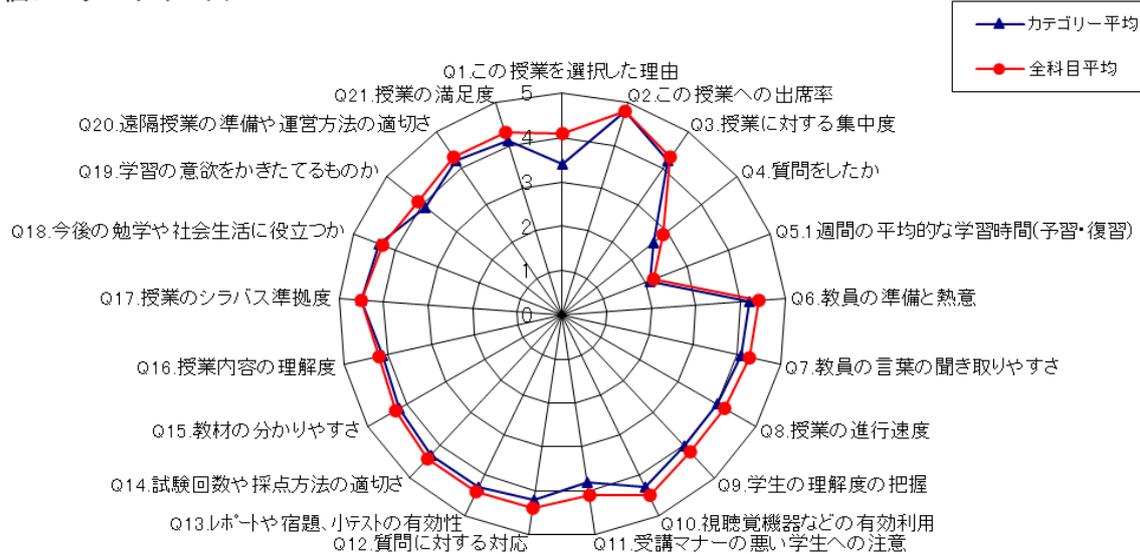
全科目が必修である専門基礎科目（①経済システム理論Ⅰ、②経済と社会の仕組みⅠ、および③コンピュータ・リテラシーⅠ）に対する結果です。評価レーダーチャートの「全科目平均」より、目立って下回ったのは「Q1.この授業を選択した理由」でしたが、必修科目であることに起因すると考えられます。これ以外は、「全科目平均」とほぼ同様の分布を示していました。自由記述欄より、評価できる点として①および②科目については、対面授業とオンライン授業との併用についておおむね好評という結果になりました。③科目については、実習科目ですが懇切丁寧な実技指導に対し評価するコメントが多いという結果になりました。改善してほしい点として、①科目については、クラスによる出欠確認方法や授業の方法、試験方法などにバラツキが大きいという指摘がありました。昨年度、指摘された授業内容のバラツキについては若干改善されています。複数クラスの場合、とりわけ必修科目であればより強くその整合性が求められますが、あまり改善が進んでいないことが分かります。到達目標のみを統一し、方法は個々の講義の個性に委ねて開講することも検討すべき時期にきているかもしれません。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

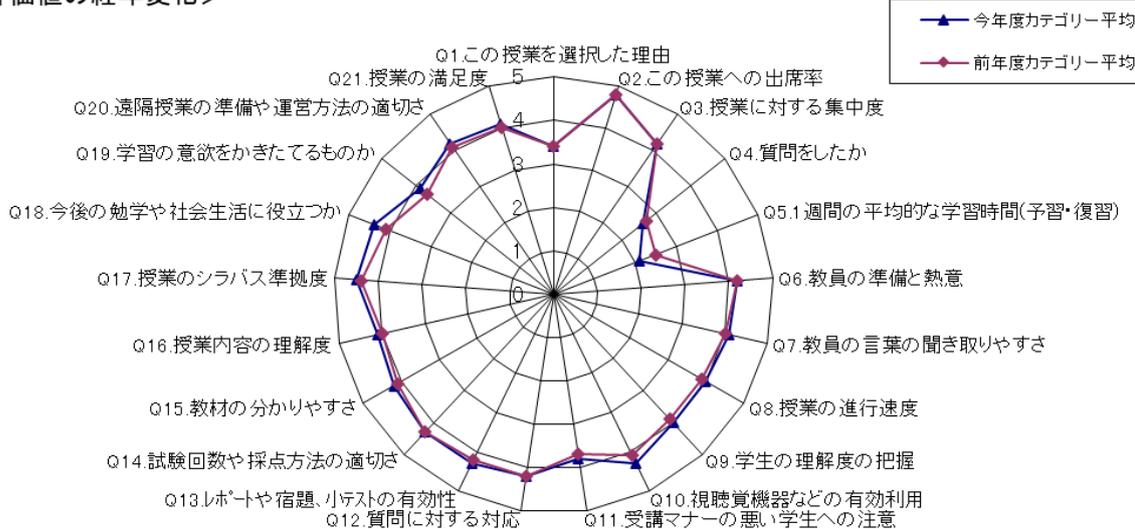
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	28 13.9%	18 9.0%	145 72.1%	0 0.0%	1 0.5%	9 4.5%	3.4 0.75	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	172 85.6%	26 12.9%	3 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.41	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	95 47.3%	71 35.3%	22 10.9%	8 4.0%	3 1.5%	2 1.0%	4.2 0.91	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	24 11.9%	26 12.9%	55 27.4%	28 13.9%	57 28.4%	11 5.5%	2.6 1.36	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	6 3.0%	12 6.0%	47 23.4%	72 35.8%	64 31.8%	0 0.0%	2.1 1.02	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	91 45.3%	80 39.8%	12 6.0%	8 4.0%	8 4.0%	2 1.0%	4.2 1.00	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	87 43.3%	73 36.3%	22 10.9%	7 3.5%	11 5.5%	1 0.5%	4.1 1.08	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	85 42.3%	57 28.4%	42 20.9%	7 3.5%	8 4.0%	2 1.0%	4.0 1.07	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	63 31.3%	71 35.3%	43 21.4%	8 4.0%	3 1.5%	13 6.5%	4.0 0.94	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	98 48.8%	73 36.3%	20 10.0%	2 1.0%	5 2.5%	3 1.5%	4.3 0.88	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	44 21.9%	15 7.5%	63 31.3%	3 1.5%	2 1.0%	74 36.8%	3.8 1.01	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	84 41.8%	47 23.4%	31 15.4%	4 2.0%	2 1.0%	33 16.4%	4.2 0.91	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	94 46.8%	74 36.8%	19 9.5%	4 2.0%	5 2.5%	5 2.5%	4.3 0.90	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	100 49.8%	66 32.8%	19 9.5%	1 0.5%	5 2.5%	10 5.0%	4.3 0.88	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	97 48.3%	68 33.8%	17 8.5%	8 4.0%	8 4.0%	3 1.5%	4.2 1.03	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	84 41.8%	71 35.3%	29 14.4%	9 4.5%	7 3.5%	1 0.5%	4.1 1.03	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	102 50.7%	72 35.8%	13 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	14 7.0%	4.5 0.62	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	108 53.7%	66 32.8%	19 9.5%	4 2.0%	2 1.0%	2 1.0%	4.4 0.82	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	69 34.3%	75 37.3%	31 15.4%	15 7.5%	10 5.0%	1 0.5%	3.9 1.11	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	89 44.3%	61 30.3%	27 13.4%	4 2.0%	8 4.0%	12 6.0%	4.2 1.03	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	90 44.8%	68 33.8%	26 12.9%	8 4.0%	8 4.0%	1 0.5%	4.1 1.04	4.3 0.95

※標準偏差の大小は、回答のパラッキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<専門関連科目>

評価レーダーチャートより、「全科目平均」と「カテゴリー平均」の評価値は、ほぼ一致する結果となりました。しかながら、「Q4. 質問をしたか」、「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」については全科目平均よりも低い結果となりました。評価値の経年変化より昨年度と比較して評価値が上昇した項目は、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」、「Q12. 質問に対する対応」などは改善されています。

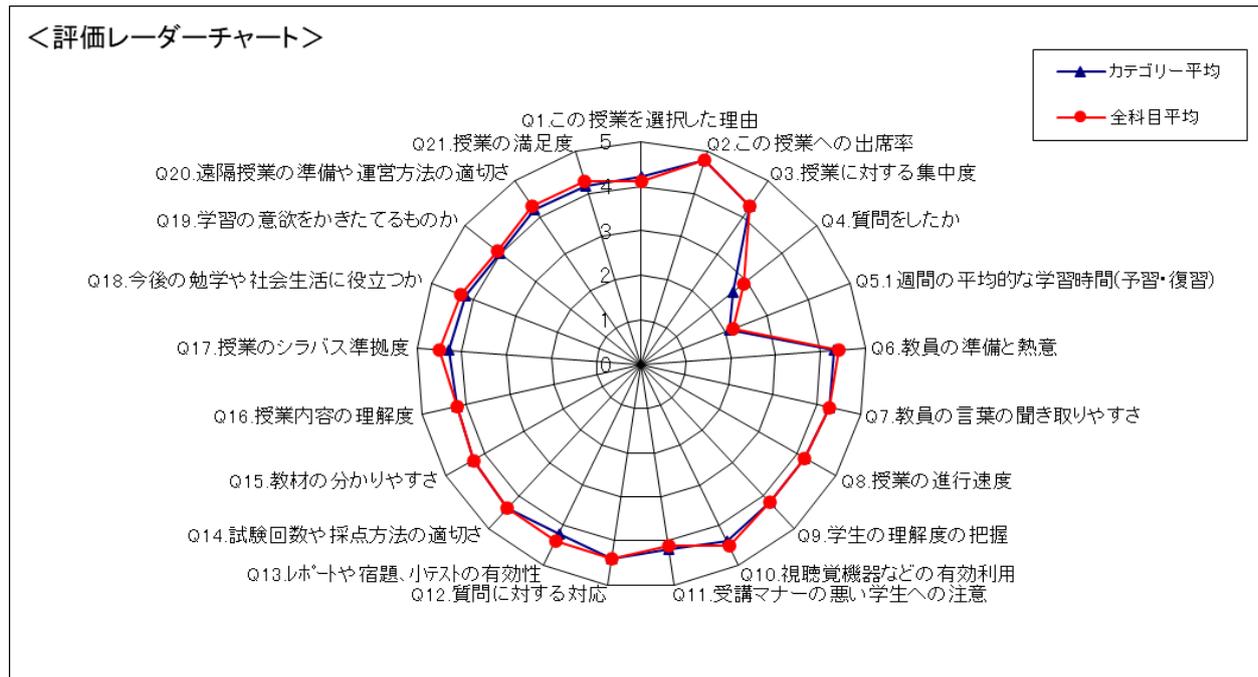
回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	156 53.6%	63 21.6%	25 8.6%	34 11.7%	4 1.4%	9 3.1%	4.2 1.10	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	245 84.2%	34 11.7%	7 2.4%	3 1.0%	2 0.7%	0 0.0%	4.8 0.61	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	138 47.4%	110 37.8%	27 9.3%	7 2.4%	5 1.7%	4 1.4%	4.3 0.86	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	35 12.0%	34 11.7%	84 28.9%	34 11.7%	89 30.6%	15 5.2%	2.6 1.37	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	10 3.4%	17 5.8%	53 18.2%	112 38.5%	99 34.0%	0 0.0%	2.1 1.03	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	160 55.0%	87 29.9%	21 7.2%	7 2.4%	9 3.1%	7 2.4%	4.3 0.95	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	148 50.9%	99 34.0%	21 7.2%	11 3.8%	9 3.1%	3 1.0%	4.3 0.97	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	140 48.1%	81 27.8%	45 15.5%	11 3.8%	6 2.1%	8 2.7%	4.2 0.98	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	132 45.4%	90 30.9%	35 12.0%	12 4.1%	7 2.4%	15 5.2%	4.2 0.99	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	167 57.4%	85 29.2%	19 6.5%	8 2.7%	6 2.1%	6 2.1%	4.4 0.89	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	116 39.9%	26 8.9%	49 16.8%	5 1.7%	8 2.7%	87 29.9%	4.2 1.11	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	142 48.8%	73 25.1%	33 11.3%	2 0.7%	1 0.3%	40 13.7%	4.4 0.77	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	140 48.1%	96 33.0%	29 10.0%	9 3.1%	8 2.7%	9 3.1%	4.2 0.96	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	147 50.5%	85 29.2%	25 8.6%	5 1.7%	6 2.1%	23 7.9%	4.4 0.89	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	140 48.1%	99 34.0%	26 8.9%	6 2.1%	9 3.1%	11 3.8%	4.3 0.95	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	125 43.0%	114 39.2%	28 9.6%	12 4.1%	7 2.4%	5 1.7%	4.2 0.94	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	141 48.5%	101 34.7%	20 6.9%	4 1.4%	7 2.4%	18 6.2%	4.3 0.88	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	135 46.4%	102 35.1%	26 8.9%	11 3.8%	8 2.7%	9 3.1%	4.2 0.97	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	115 39.5%	102 35.1%	38 13.1%	15 5.2%	13 4.5%	8 2.7%	4.0 1.08	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	138 47.4%	85 29.2%	40 13.7%	12 4.1%	7 2.4%	9 3.1%	4.2 0.99	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	147 50.5%	91 31.3%	27 9.3%	7 2.4%	15 5.2%	4 1.4%	4.2 1.06	4.3 0.95

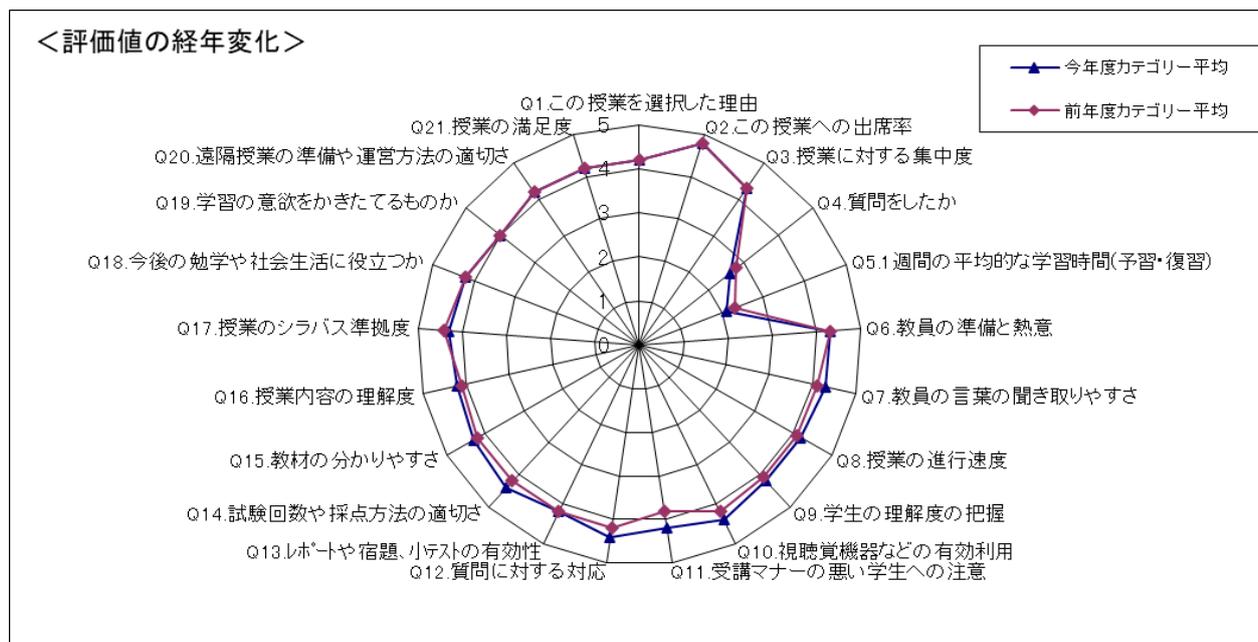
※標準偏差の大小は、回答のパラッキの大小を表す。

自由記述では、良かった点をあげた回答が54件、改善を求める回答が38件でした。評価できるポイントとして多かったコメントは、対面授業を基本としつつ、オンライン授業との併用にて対応したことがあげられています。しかし、改善して欲しい内容の中に、オンライン授業の運営上の問題として、機器のトラブルや通信の障害などもあり、今後もソフト面、ハード面の両面で教員側のさらなる研鑽が望まれます。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<商学科専門科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、全科目平均とほぼ同じ傾向を見て取れます。とりわけ、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q10. 学生の理解度把握」、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q16. 授業内容の理解度」、「Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ」、「Q21. 授業の満足度」などの項目は、全科目平均よりも高い評価値となっています。評価値の経年変化より、前年度のカテゴリー平均と比較すると、今年度のカテゴリー平均の評価値は、ほぼすべての項目で上回っており、今後もさらに積み重ねることが大切です。

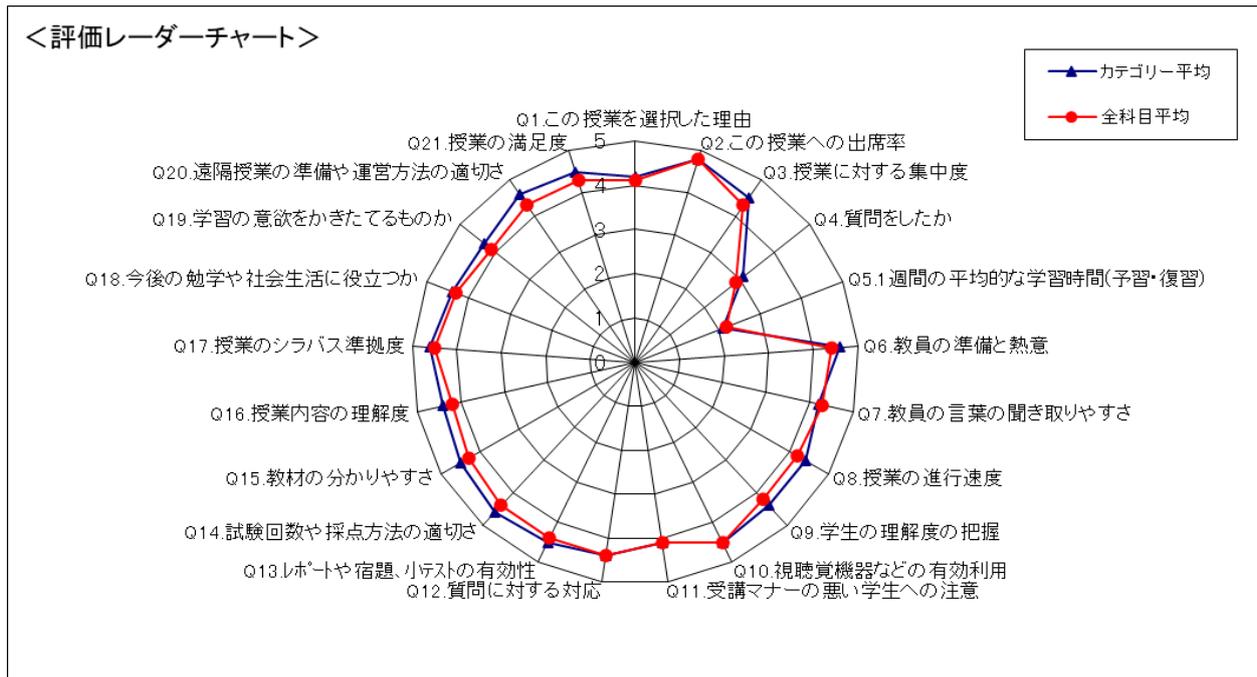
回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
Q1. この授業を選択した理由	52 50.0%	24 23.1%	14 13.5%	8 7.7%	1 1.0%	5 4.8%	4.2 1.02	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	88 84.6%	15 14.4%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.40	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	58 55.8%	39 37.5%	6 5.8%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.65	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	22 21.2%	13 12.5%	35 33.7%	10 9.6%	17 16.3%	7 6.7%	3.1 1.35	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	4 3.8%	6 5.8%	22 21.2%	34 32.7%	38 36.5%	0 0.0%	2.1 1.07	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	72 69.2%	20 19.2%	10 9.6%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.75	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	57 54.8%	23 22.1%	10 9.6%	11 10.6%	3 2.9%	0 0.0%	4.2 1.14	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	61 58.7%	27 26.0%	10 9.6%	4 3.8%	0 0.0%	2 1.9%	4.4 0.82	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	61 58.7%	24 23.1%	14 13.5%	1 1.0%	1 1.0%	3 2.9%	4.4 0.84	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	65 62.5%	24 23.1%	12 11.5%	3 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.81	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	39 37.5%	15 14.4%	26 25.0%	1 1.0%	2 1.9%	21 20.2%	4.1 1.02	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	59 56.7%	21 20.2%	17 16.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 6.7%	4.4 0.77	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	63 60.6%	25 24.0%	11 10.6%	1 1.0%	0 0.0%	4 3.8%	4.5 0.73	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	68 65.4%	17 16.3%	11 10.6%	1 1.0%	0 0.0%	7 6.7%	4.6 0.73	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	66 63.5%	22 21.2%	9 8.7%	2 1.9%	0 0.0%	5 4.8%	4.5 0.74	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	55 52.9%	38 36.5%	8 7.7%	2 1.9%	1 1.0%	0 0.0%	4.4 0.79	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	67 64.4%	21 20.2%	7 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	9 8.7%	4.6 0.62	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	58 55.8%	34 32.7%	9 8.7%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	4.4 0.77	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	48 46.2%	39 37.5%	12 11.5%	3 2.9%	1 1.0%	1 1.0%	4.3 0.85	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	57 54.8%	13 12.5%	8 7.7%	1 1.0%	0 0.0%	25 24.0%	4.6 0.72	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	64 61.5%	28 26.9%	10 9.6%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.75	4.3 0.95

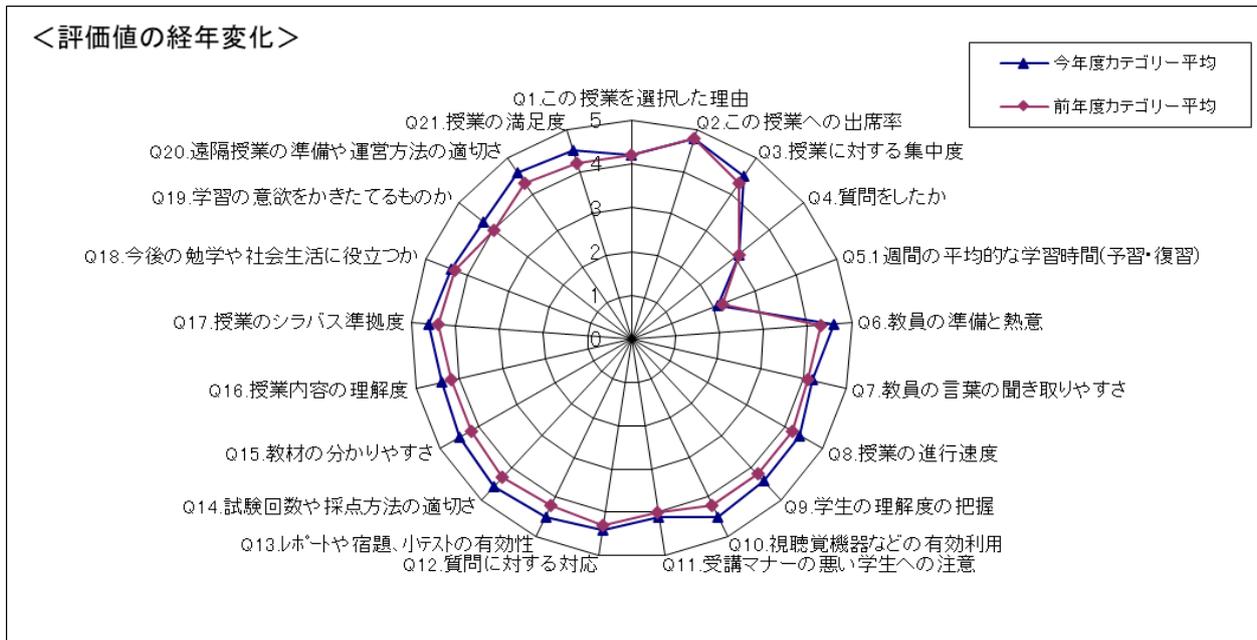
※標準偏差の大小は、回答のパラッキの大小を表す。

自由記述内容をみると、このカテゴリにはコマース研究ゼミナールが含まれており、少人数教育が実践されている場であるため、「常に、グループワークをして、一つの課題について考え、発表できるように仕上げなければならないところは大変だが勉強になった。」、「学生を中心に進めていく点。主体性が生まれると感じた。」などゼミナールならではの高い評価でした。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<観光産業学科専門科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、ほぼ全科目平均とほぼ同じ傾向を見て取れます。とりわけ、「Q4. 質問をしたか」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」、「Q19. 学習意欲をかきたてるものか」、「Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ」、「Q21. 授業の満足度」などの項目は、全科目平均よりも高い評価値となっています。評価値の経年変化より、前年度のカテゴリー平均と比較すると、「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」において今年度のカテゴリー平均の評価値が特に向上しています。観光産業学科専門科目における授業方法などを他のカテゴリーにおいて共有、さらなる改善を目指すことでよりよい授業が展開されることを期待します。

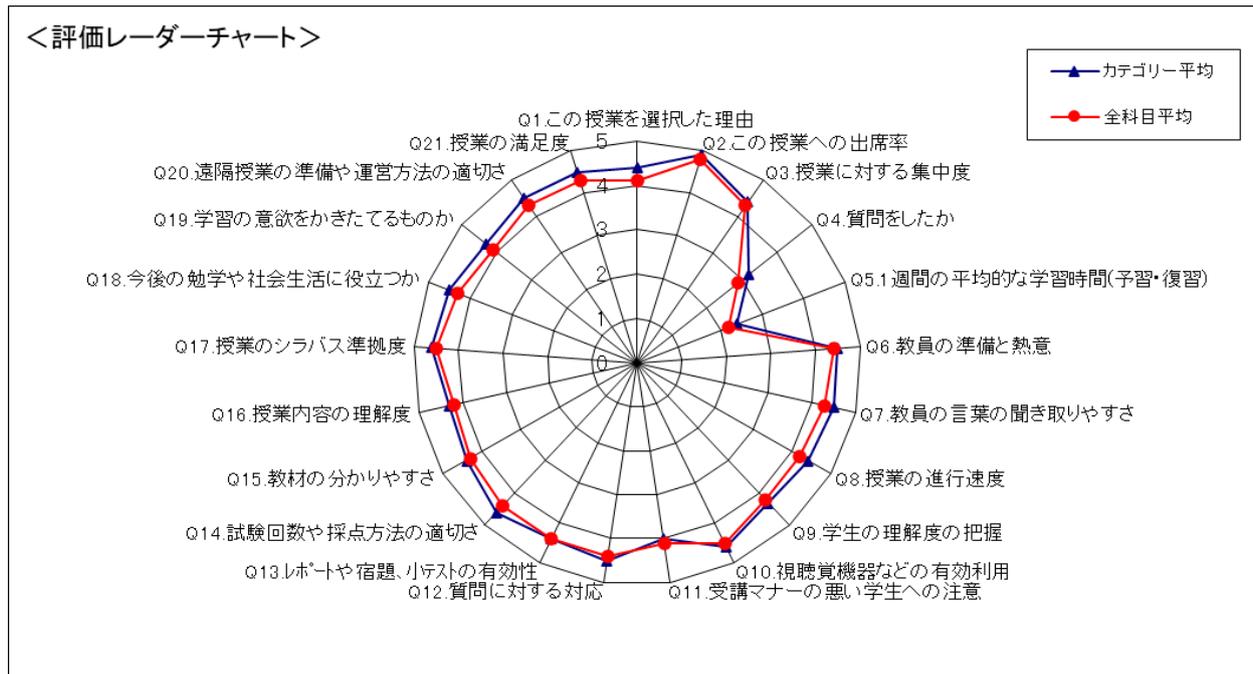
回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリ	全科目
Q1. この授業を選択した理由	38 62.3%	9 14.8%	8 13.1%	2 3.3%	1 1.6%	3 4.9%	4.4 0.96	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	55 90.2%	5 8.2%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.37	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	31 50.8%	22 36.1%	5 8.2%	1 1.6%	0 0.0%	2 3.3%	4.4 0.72	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	10 16.4%	19 31.1%	11 18.0%	8 13.1%	9 14.8%	4 6.6%	3.2 1.33	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	5 8.2%	6 9.8%	13 21.3%	24 39.3%	13 21.3%	0 0.0%	2.4 1.17	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	42 68.9%	12 19.7%	5 8.2%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	4.5 0.84	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	39 63.9%	15 24.6%	4 6.6%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%	4.5 0.83	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	34 55.7%	19 31.1%	5 8.2%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%	4.4 0.84	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	25 41.0%	24 39.3%	5 8.2%	1 1.6%	1 1.6%	5 8.2%	4.3 0.83	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	38 62.3%	16 26.2%	4 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.9%	4.6 0.62	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	12 19.7%	4 6.6%	6 9.8%	1 1.6%	1 1.6%	37 60.7%	4.0 1.14	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	34 55.7%	15 24.6%	6 9.8%	1 1.6%	0 0.0%	5 8.2%	4.5 0.76	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	36 59.0%	18 29.5%	3 4.9%	2 3.3%	2 3.3%	0 0.0%	4.4 0.96	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	35 57.4%	10 16.4%	4 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	12 19.7%	4.6 0.63	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	38 62.3%	11 18.0%	7 11.5%	3 4.9%	1 1.6%	1 1.6%	4.4 0.98	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	29 47.5%	24 39.3%	5 8.2%	2 3.3%	0 0.0%	1 1.6%	4.3 0.77	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	39 63.9%	16 26.2%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%	4 6.6%	4.6 0.69	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	37 60.7%	18 29.5%	4 6.6%	0 0.0%	1 1.6%	1 1.6%	4.5 0.76	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	36 59.0%	15 24.6%	3 4.9%	4 6.6%	2 3.3%	1 1.6%	4.3 1.06	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	37 60.7%	14 23.0%	2 3.3%	1 1.6%	2 3.3%	5 8.2%	4.5 0.93	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	40 65.6%	13 21.3%	2 3.3%	2 3.3%	1 1.6%	3 4.9%	4.5 0.86	4.3 0.95

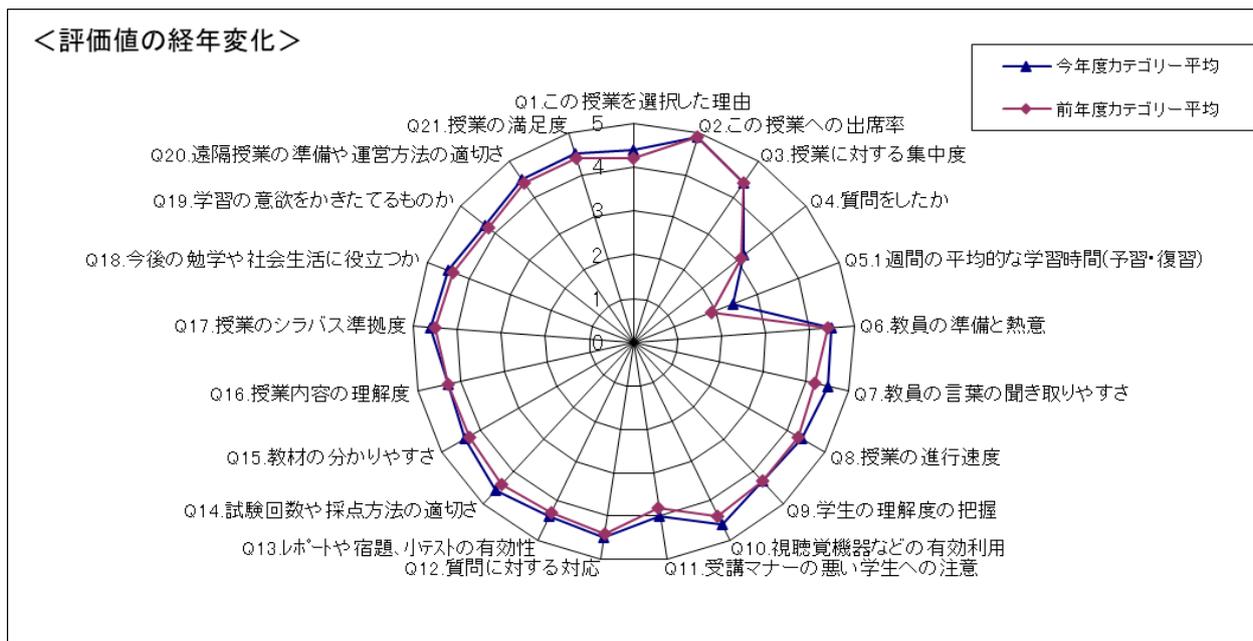
※標準偏差の大小は、回答のパラッキの大小を表す。

自由記述内容をみると、このカテゴリには商学科専門科目と同様に観光研究ゼミナールが含まれており、やはり少人数教育が実践されている場であるため、「わからないことなど聞きやすく、とても楽しいゼミでした。」、「フィールドワーク。」などゼミナールならではの高い評価といえます。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<専門キャリアアップ科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、ほぼすべての項目において全科目平均よりも高い結果となりました。このカテゴリーは、資格試験を意識した専門キャリアアップ科目という特性があり、「Q4. よく質問したか」についても高い評価値となっています。ただし、「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」については、昨年度と比較して改善されていますが、今年度の全科目平均と同程度となっており、授業の時間以外での学習するための工夫をさらに進める必要があります。

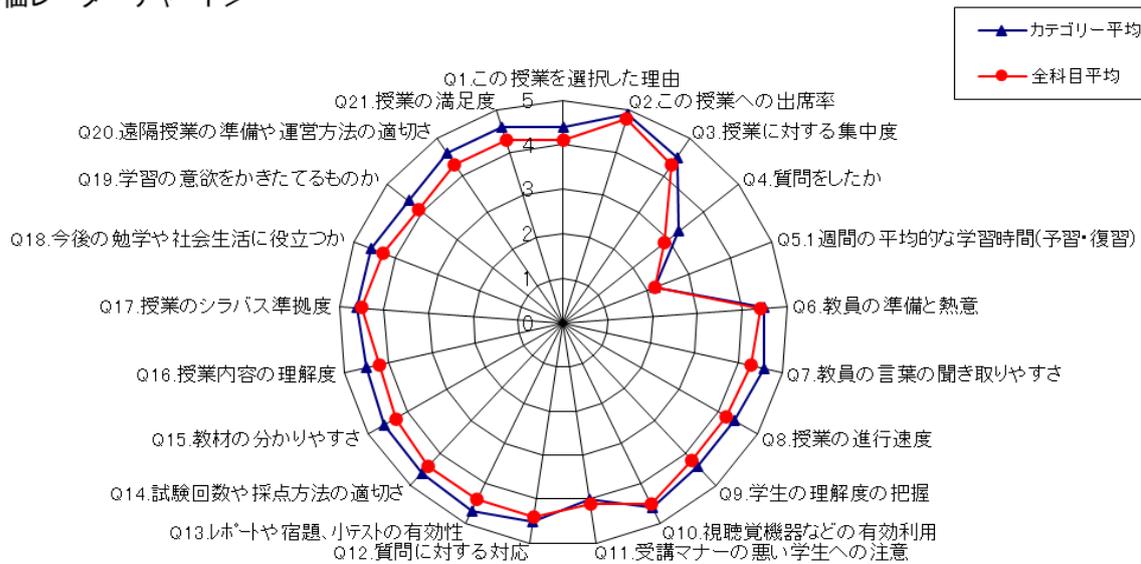
自由記述内容を見ると「この授業で特に良かった点」としては、「わかりにくいポイントや難しい問題に時間をかけて説明してくれたことで、よく問題を理解することができました。」、「遠隔授業の週の動画講義が、わかりやすく対面授業の質とほとんど差が無いところ。」、「全てにおいてよかったです。自分のスキルアップにもなったし、試験に合格すれば資格取得になるので、履修してよかったですと感じています。半年間ありがとうございました。」といった意見が寄せられており、見習うべき内容は、大学内で共有、改善へつなげるべきヒントがあります。「この授業で特に改善してほしい点」では、「計算問題が、あまりみんな解決

できてないまま進んでいる感じがしました。」、「学生に課題の量や講義スピードについてアンケートを取っており、ほとんどの学生にとって課題が多く、講義に詰め込む内容が多くてスピードが速くなってしまい理解できないまま授業が進んでいると言っているのにも関わらず改善されたことはなかった。」といった厳しい意見もあり、真摯に受け止めて、改善することが必要です。

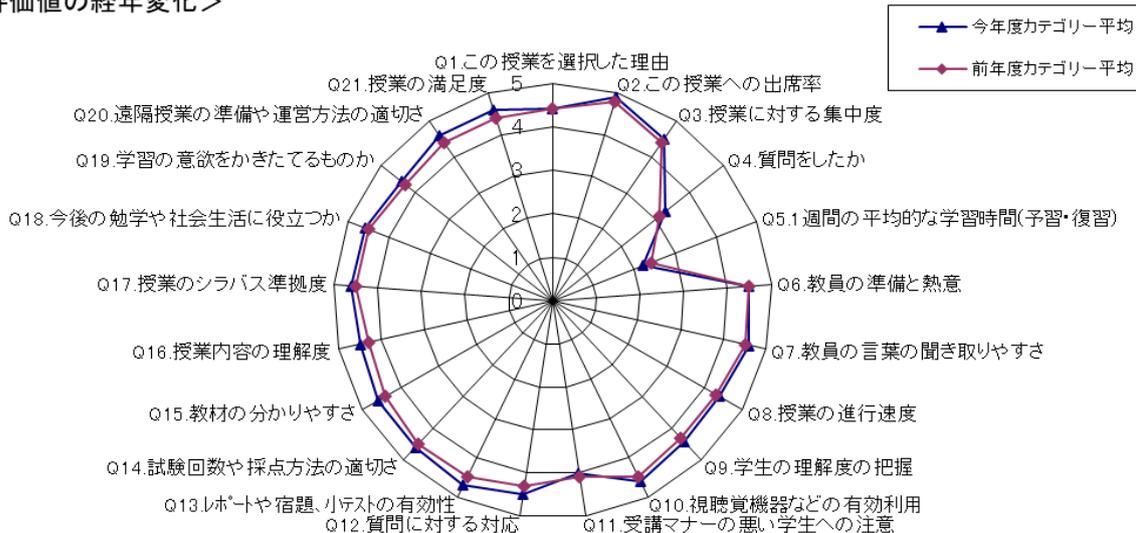
質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段:平均値	下段:標準偏差
	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	56 53.8%	39 37.5%	6 5.8%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	4.4 0.73	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	93 89.4%	10 9.6%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.35	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	65 62.5%	31 29.8%	7 6.7%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	4.5 0.71	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	19 18.3%	29 27.9%	32 30.8%	10 9.6%	12 11.5%	2 1.9%	3.3 1.22	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	7 6.7%	3 2.9%	22 21.2%	48 46.2%	24 23.1%	0 0.0%	2.2 1.05	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	65 62.5%	31 29.8%	7 6.7%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.67	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	68 65.4%	30 28.8%	4 3.8%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.66	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	64 61.5%	25 24.0%	10 9.6%	3 2.9%	1 1.0%	1 1.0%	4.4 0.86	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	54 51.9%	33 31.7%	11 10.6%	2 1.9%	0 0.0%	4 3.8%	4.4 0.76	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	73 70.2%	24 23.1%	5 4.8%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	4.6 0.71	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	33 31.7%	10 9.6%	22 21.2%	1 1.0%	3 2.9%	35 33.7%	4.0 1.12	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	62 59.6%	22 21.2%	7 6.7%	1 1.0%	1 1.0%	11 10.6%	4.5 0.77	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	76 73.1%	21 20.2%	6 5.8%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.63	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	74 71.2%	19 18.3%	7 6.7%	0 0.0%	1 1.0%	3 2.9%	4.6 0.70	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	72 69.2%	21 20.2%	7 6.7%	2 1.9%	1 1.0%	1 1.0%	4.6 0.79	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	65 62.5%	31 29.8%	6 5.8%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	4.5 0.73	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	65 62.5%	24 23.1%	4 3.8%	2 1.9%	0 0.0%	9 8.7%	4.6 0.67	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	77 74.0%	20 19.2%	5 4.8%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	4.6 0.71	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	61 58.7%	30 28.8%	12 11.5%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	4.4 0.77	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	65 62.5%	13 12.5%	6 5.8%	3 2.9%	0 0.0%	17 16.3%	4.6 0.76	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	72 69.2%	20 19.2%	12 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.69	4.3 0.95

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



<教職科目に関する科目>

評価レーダーチャートより、このカテゴリの平均は、全科目平均よりも高い結果となりました。しかしながら、大きく平均を下回っている項目が「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」です。昨年度と比較しても、前年度カテゴリ平均よりも今年度カテゴリ平均が低下していることがわかります。年度ごとの学生側の要因やアンケートのサンプル数の少なさや、回答率の小ささなども考えられますが、授業時間以外での学習意欲を高めるような工夫をより一層求めます。

回答分布(人数と平均値・標準偏差)

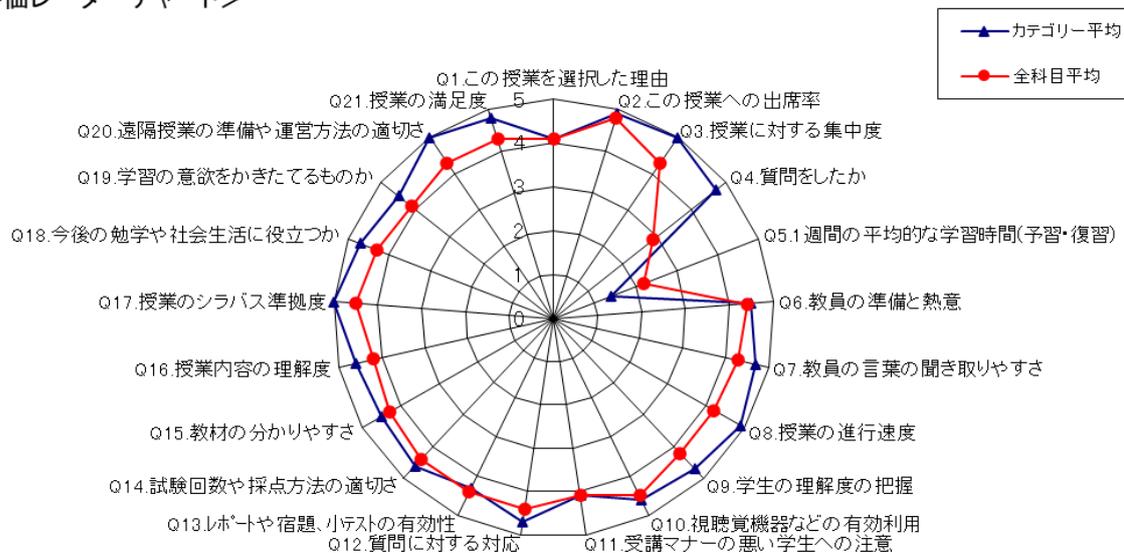
上段:平均値

下段:標準偏差

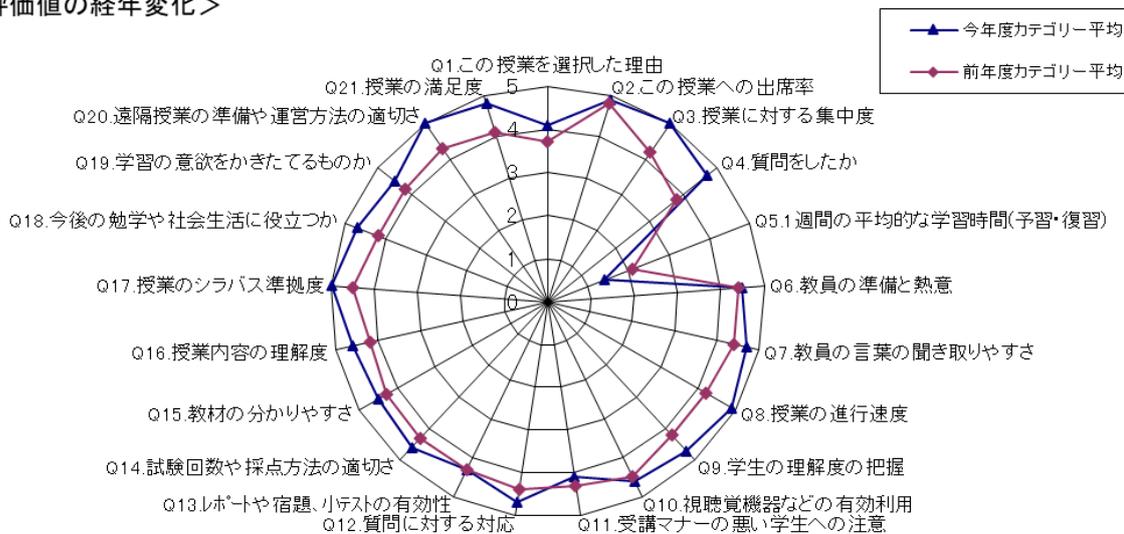
質問内容	5	4	3	2	1	0・無回答	カテゴリー	全科目
Q1. この授業を選択した理由	6 46.2%	2 15.4%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.1 0.92	4.1 1.05
Q2. この授業への出席率	12 92.3%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.27	4.8 0.54
Q3. 授業に対する集中度	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5.0 0.00	4.3 0.81
Q4. 質問をしたか	9 69.2%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.46	2.9 1.42
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 38.5%	8 61.5%	0 0.0%	1.4 0.49	2.2 1.10
Q6. 教員の準備と熱意	9 69.2%	2 15.4%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.75	4.4 0.87
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	9 69.2%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.46	4.3 0.95
Q8. 授業の進行速度	12 92.3%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.9 0.27	4.2 0.94
Q9. 学生の理解度の把握	9 69.2%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.46	4.2 0.91
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	9 69.2%	3 23.1%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.63	4.5 0.82
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	6 46.2%	4 30.8%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	4.1 1.07	4.1 1.08
Q12. 質問に対する対応	9 69.2%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.46	4.4 0.79
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	9 69.2%	0 0.0%	3 23.1%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	4.3 1.07	4.4 0.89
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	10 76.9%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.74	4.4 0.81
Q15. 教材の分かりやすさ	9 69.2%	2 15.4%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.75	4.3 0.92
Q16. 授業内容の理解度	9 69.2%	3 23.1%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.6 0.63	4.2 0.92
Q17. 授業のシラバス準拠度	12 92.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	5.0 0.00	4.5 0.72
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	9 69.2%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.46	4.3 0.89
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	9 69.2%	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.84	4.1 1.04
Q20. 遠隔授業の準備や運営方法の適切さ	9 69.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	5.0 0.00	4.3 0.92
Q21. 授業の満足度	11 84.6%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.8 0.58	4.3 0.95

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

<評価レーダーチャート>



<評価値の経年変化>



北海商科大学 教育方法改善員会

〒062-8607

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

代表 (011) 841-1161